

石城新聞

本報発行所 石城新聞社
〒110 東京都千代田区千代田
電話 二二三七番

死を起す者

三上於菟吉作
布施平八郎書
信（一）

八月初の、或朝であつた。本郷の高山の下の宿へ酒客村越が飛込んで来た。高山はまた旅行に打ちまゝで、彼はいきなり帳場へ登り掛けた。帳場の主知は、驚き、まだ居らぬやいな、と、晩、九時、かの夜、返事はなかつた。

高山はやつと眼をさました。まぶしさを眼をさけて、透りを見出した。まぶしさをさけて、透りを見出した。まぶしさをさけて、透りを見出した。



打つて、つしやると言つて、おどろかされた、昨夜遅く何やらかかお歸りになつても返事はなかつた。おどろかされた、昨夜遅く何やらかかお歸りになつても返事はなかつた。

「お、つはしめて」

おどろかされた、昨夜遅く何やらかかお歸りになつても返事はなかつた。

所員採用

平町及郡山二勤務スル調査ニ趣味ヲ有スル至誠至勤ノ御方ヲ求ム

御希望ハ至急履歴書ヲ左記ノ御送り下サレ

平町私書箱第六號
東京商業興信所
平出張所
支所 郡山

片夕醬油

片夕醬油

竹約店 廣瀨支店
電話 五五四番

石炭

石炭

平野前 阿部石炭商店
電話 二二三七番

夜間診療

夜間診療

院醫科腸胃性

小供洋服

小供洋服

日ニモヤケズ

店系ヤトモシハ

元禄

元禄

大販賣店 山野邊藥局

市原醫院

市原醫院

電話 一一四番

清水屋

清水屋

電話 六番

片濱乗合自動車時間表

片濱乗合自動車時間表

江名のりば

鈴木片濱自動車部

佐藤材木店

佐藤材木店

電話 三三五番

木シ美白粉

最高の白粉

石城小名濱町 小野晋平

署長を送迎する警察と税務署

九年目で返る役人の平凡さ

平から行く人来る人



税務署は岡部長、畑水閣税課長が何れも榮轉する事となり赴任準備を急ぐ當の本人と新任署長を迎へる忙しさに兩署とも多大忙を感してゐる。

△寫眞は（上）岡部長（下）猪狩氏

署長より弘前税務署長に榮轉した岡部長は去る大正十三年十二月着任以來足かけ六年在任し其の間地方税界の爲め貢献せし治績抄小に記さるゝ人にて榮轉の祝辭に對し

續漫富士登山(九)

箱根の巻

平三 山田生 畫く

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

箱根は箱根八里の舊街

伊藤榮次氏 平署の現任署長は伊藤榮次氏で、その特高係より多岐方署長に榮轉した伊藤署長は須賀川より逆戻りして九ヶ年非の如く夏になると飲料水の不足に悩まされるので之を一手掃るため

上水道の設置に汗みどろの湯本

委員十五名を擧げて

水に生さる苦惱

不足を告げたので

合併の引續

九月一日から開始

四電電氣株式會社(資本金四千萬圓)と六六二五兩町六番地

飲料水需要減

サイダーに現はれた

石城郡下の昨今

植田の益踊

假裝が大人氣

植田町地方の盆踊は十八日終つて昨夜より今朝は盆踊の熱の空地に大掃を伴ふ

去年よりも増して

人出七萬餘人

三日間を踊り抜く若者達

平町の字羅盆景

交通違反

五十件之處分

植田警察署の

秋繭は六十掛

石城郡下の蠶況

ホクノ顔の養蠶家

レコードハ此のマーク!

集募員店

肉聲のビクターレコード

販賣店 會田時計店

安全第一

吉田眼科醫院

平町 紺屋町

花 春 同 賞 受 領

山崎合名會社

電話一〇番

和洋銅鐵 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番一三三九番

生花教授

須藤まつ子の

須藤まつ子の